

**【市民活動助成事業・スタート助成】**

けん玉で遊ぼう事業Ⅱ

昔のあそびと遊ぼう会

事業計画書

事業名	けん玉で遊ぼう事業Ⅱ
団体名	昔のあそびと遊ぼう会

<p>取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)</p>	<p>昔のあそびの一つとしてけん玉も取り入れています。特にけん玉は、地域の小学校だけでなく馬橋地区や、常盤平地区、栗ヶ沢地区、梨香台地区等でも教えて欲しいとの要望がきており、かなり普及してきていると感じます。六実六高台地区の小学校では授業に取り入れているところもあり、子供達の上達はめざましく、昔のあそびと遊ぼう会メンバーで教えるレベルを超えて上達している子供も多数います。又昨今では、高齢者の健康推進を図るため、けん玉活用している所もあるようです。</p> <p>平成26年度のけん玉教室を継続し、定着を図り、子供の健全育成と、高齢者の健康長寿に少しでも寄与するようにしたい。</p>																					
<p>事業の目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々とふれあい、子供達、大人と一緒に遊べ、コミュニケーションを取れる場をつくる。又子供達には、上達することで達成感を味わって貰いたいと思っています。</li> </ul>																					
<p>事業内容</p>	<p>(どのような課題の解決につながっていくのかが、わかるように事業内容を記載して下さい。)</p> <p>1 事業内容</p> <p>(1) けん玉教室を開催し、子供達の達成感、大人とのコミュニケーションを図れる場をていきようする。</p> <p>{けん玉教室の開催要領}</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・けん玉の上達がわかるようにけん玉の級、段位の認定を行える。</li> <li>・技を教える時間と、認定の時間を設ける。</li> <li>・大人と子供と一緒にできる教室にする。</li> <li>・原則1ヶ月に1回開催する。</li> </ul> <p>(2) 年に一度地域の子供達を集め、けん玉の面白さを紹介するイベントを開催する。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="488 1771 1393 2076"> <thead> <tr> <th></th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>けん玉教室</td> <td>会員、無料講師、市民センター</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>けん玉教室</td> <td>会員、無料講師、市民センター</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>けん玉教室</td> <td>会員、有料講師、市民センター</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>けん玉教室</td> <td>会員、無料講師、市民センター</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>けん玉教室</td> <td>会員、無料講師、市民センター</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>けん玉教室</td> <td>会員、無料講師、市民センター</td> </tr> </tbody> </table>		具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター	5月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター	6月	けん玉教室	会員、有料講師、市民センター	7月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター	8月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター	9月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター
	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																				
4月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター																				
5月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター																				
6月	けん玉教室	会員、有料講師、市民センター																				
7月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター																				
8月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター																				
9月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター																				

	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>10月</td> <td>けん玉教室</td> <td>会員、無料講師、市民センター</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>けん玉で遊ぼう</td> <td>会員、有料講師、市民センター</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>けん玉教室</td> <td>会員、無料講師、市民センター</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>けん玉教室</td> <td>会員、有料講師、市民センター</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>けん玉教室</td> <td>会員、無料講師、市民センター</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>けん玉教室</td> <td>会員、無料講師、市民センター</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>けん玉教室</td> <td>会員、有料講師、市民センター</td> </tr> </tbody> </table>	10月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター	10月	けん玉で遊ぼう	会員、有料講師、市民センター	11月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター	12月	けん玉教室	会員、有料講師、市民センター	1月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター	2月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター	3月	けん玉教室	会員、有料講師、市民センター
10月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター																				
10月	けん玉で遊ぼう	会員、有料講師、市民センター																				
11月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター																				
12月	けん玉教室	会員、有料講師、市民センター																				
1月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター																				
2月	けん玉教室	会員、無料講師、市民センター																				
3月	けん玉教室	会員、有料講師、市民センター																				
<p>既存の事業からステップアップする部分 ※ステップアップ助成のみ</p>	<p>(今までに実施してきた事業に比べて、どのような点をステップアップしたいのかを記載してください。)</p>																					
<p>事業の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けん玉教室の会員を毎月30名集める。</li> <li>・けん玉有段者を3名以上(年間)育成する。</li> <li>・親子で楽しんでもらうため、親子(孫)参加者を20組参加してもらおう。</li> </ul>																					
<p>今後の展望</p>	<p>(助成終了後の将来の展望を記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供と大人と一緒に遊べる環境として、継続して教室をひらいていく、</li> <li>・継続して開催出来るように、講師の手配をしていく</li> <li>・高齢者の健康維持のため、他地域でも出張開催が出来るようにする。</li> </ul>																					

## 事業の予算概要

## 【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	団体拠出額	¥ 11,080	団体会計より拠出
	自己資金合計額 (a①)	¥ 11,080	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	
	団体より拠出金 (対象外経費分) (a③)	¥ 7,220	対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 18,300	
	市 市民活動助成金 (B)	¥ 97,000	
合計額 (C) = (A + B)		¥ 115,300	

## 【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	講師料	¥ 40,000	4回 * 10000円/回 = 40,000円
	消耗品費	¥ 30,000	けん玉30個 * 1000円 = 30,000円
	賞状等紙代	¥ 28,000	賞状 360人 * 50円 = 18,000円、 チラシ作成 1000枚 * 10円 = 10,000円
	行事保険料	¥ 10,080	延360人 * 28円 = 10,080円
	対象経費の合計 (D)	¥ 108,080	
	その他経費	¥ 7,220	19名 * 380円 = 7,220円
	その他経費の合計 (E) = (a③)	¥ 7,220	
合計額 (F) = (D + E)		¥ 115,300	

## 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

【市民活動助成事業・スタート助成】

伝えたい大震災の記憶・学びたい大震災の体験の  
講演会・ワークショップ事業 Part2

東日本大震災復興支援 松戸・東北交流プロジェクト

## 事業計画書

事業名	伝えたい大震災の記憶・学びたい大震災の体験の講演会・ワークショップ事業 Part 2
団体名	東日本大震災復興支援 松戸・東北交流プロジェクト

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>(取り組もうとする課題について、その現状や背景なども含めて明確に記載して下さい。)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 避難者から学ぶ大震災の事業を実施した。その際イベント実施の一環として3.11時のアンケート調査・事業実施後のアンケート調査の2調査を集計した。そのまとめた集計結果から見えたものが、今回の応募する原点となった。</li> <li>2. 阪神・淡路大震災時の神戸市でも、35000人の被災者がいたが、救出に行政のみでは間に合わず、被災者の内27000人は市民の手で救助された。</li> <li>3. 上記2つの事から以下の課題が見えてきた。 <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域の連携の大切さ。自助・共助・公助の中で共助がそれに当たる。</li> <li>②震災に必ずしも自宅で遭うとは限らない。</li> <li>③情報を共有することの大切さを痛感した。</li> <li>④減災とはどんなことか市民が理解しあえるようにしたい。</li> </ol> </li> </ol>
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害リスクを軽減したい 地域や身近にいる人が助け合う『共助』を学ぶ 災害弱者の力になる</li> <li>2. 避難者の力を借りることで、避難者と一緒に事業を成功させたい</li> <li>3. サロンに来訪の市民の力を結集する</li> <li>4. 震災を忘れてはならない</li> </ol>
事業内容	<p>(どのような課題の解決につながっていくのかが、わかるように事業内容を記載して下さい。)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業内容 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 講演会とパネルディスカッション <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会 今回は、都市型震災を視野に入れ阪神・淡路大震災の震災体験者を招きたい。 建物倒壊、火災、避難所への経路、震災弱者の講演内容とする。</li> <li>・パネルディスカッション 講師・避難者・市民などに参加を依頼し、減災を実現させるための方策を見つける。</li> </ul> </li> <li>(2) ワークショップ 「減災マップづくり」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・『減災街歩き』を実施。サロン設置地区を選ぶ。サロン来訪者から参加希望を募る。</li> <li>・事業当日、班ごとに分かれ地図に落とし込んでいく。 地域への関心を高める効果。危険な建物・塀を見つける。高齢者の居</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>

所、避難所迄の道筋(通常親しんでいる道路がベター)、土地の高低差を確認する。店舗、公衆電話設置場所などを見つける。

- ・松戸市内で防災活動を実施している団体に、ワークショップ「減災マップづくり」にアドバイザーとして参加をお願いする。

## 2 スケジュール

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4 月	講師選定 計画書に沿った内容検討	
5 月	計画書に沿った内容検討 『街歩き』参加者募集	街歩きの範囲を確定する
6 月	広報活動 チラシ原稿作成	松戸市・日刊紙・情報誌 開催場所の交渉
7 月	実施場所の確保 チラシの印刷・配布	調整が必要
8 月	前月準備 講師と詳細打ち合わせ	当日配布資料の準備 パネル等の準備
9 月	講演会 ワークショップ	当日
10月	報告書の作成 振り返り	アンケート集計
11月		

既存の事業からステップアップする部分  
※ステップアップ助成のみ

(今までに実施してきた事業に比べて、どのような点をステップアップしたいのかを記載してください。)

事業の目標

(事業に取り組む上で、どれだけのことを達成したいのか、その目標を記載して下さい。)

※事業の成果目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載して下さい。

1. チラシ 1000 枚印刷・配布。
2. 講演会参加予定者 70名(次世代を担う若い人の参加10名は確保したい)
3. 避難者を講師に招くことで、避難者の置かれた現状を市民に知ってもらう。
4. この事業をサロンニュース(750部発行)に掲載し減災を市民に知らせる。
5. 当日作成した1地区の減災マップを利用できる域まで完成させたい。

今後の展望

(助成終了後の将来の展望を記載してください。)

1. サロン活動を通じて減災の手法を市民に広げていく。
2. 今回は、減災マップを1地区で作成するが、松戸市内に広まっていくようサロン活動でも減災マップ作りを講座に組み入れてみたい。
3. お付き合いの始まった栗ヶ沢防災委員会の皆さんに、アドバイス頂きながら引き続き交流を深めていきたい。
4. 避難者同士・避難者と松戸市民の交流の場を、『共助』の場にしていく。

## 事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	松戸・東北交流プロジェクト拠出金	¥ 53,700	対象事業費の一部を団体からの会計から拠出
	自己資金合計額 (a①)	¥ 53,700	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	
	団体より拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 12,000	対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 65,700	
	市 市民活動助成金 (B)	100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 165,700	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	講師謝礼50000円、栗防10000円
	印刷製本費	¥ 35,000	広報チラシ印刷代、当日資料印刷代 30円×1000枚、10円×500枚
	消耗品費	¥ 13,000	模造紙、チラシ・資料用紙、展示用パネル 40円×20枚、2円×1000枚、1円×500枚、500円×5枚 他
	食糧費	¥ 2,000	パネルディスカッション 茶菓子代・水
	使用料・賃借料	¥ 10,000	プロジェクター、スクリーン 1式
	通信運搬費	¥ 28,700	切手代 82円×350通
	保険料	¥ 5,000	行事保険
	対象経費の合計 (D)	¥ 153,700	
その他経費	食糧費	¥ 10,000	会員の食事代 500円×20名
	サロン開設茶代	¥ 2,000	お茶
	その他経費の合計 (E) = (a③)	¥ 12,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 165,700	

## 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

**【市民活動助成事業・スタート助成】**

知っておくと安心！

食品の安全な取り扱い手帳を市民に手渡ししたい  
～講演会の実施等で～事業

食の安全安心を考える市民の会

## 事業計画書

事業名	知っておくと安心！ 食品の安全な取り扱い手帳を市民に手渡し したい～講演会の実施会場等で～事業
団体名	食の安全安心を考える市民の会

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>(取り組もうとする課題について、その現状や背景なども含めて明確に記載して下さい。)</p> <p>昨年助成事業で、作成できた「食品の安全な取り扱い手帳」を市民の皆さんに認知してもらい手渡したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健全な食生活を送るために、私たち消費者も食品について学ぶことがたくさんある。千葉大学園芸学部で学び、その大切さを理解した。</li> <li>2. 生産者から販売者まで安全を保障しバトンタッチされてきた食品を、消費者も上手に受け取り取り、表示を守って扱わないと家庭で大きなリスクを抱えることになる。</li> <li>3. 数字には表れることが少ないが家庭でも食中毒は起きている。</li> <li>4. 私たちは、消費者の目線に立ったやさしく分かりやすい「食品の安全な取り扱い手帳適正消費者規範(GCP)」を作成した。 家庭で家族の健康を守る！若い子育て中の家庭、男性たちにも手にとって参考にしてもらいたいと考えている。</li> <li>5. 市民手作りは、全国初となるはずである。</li> </ol>
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前年度完成させた『取扱い手帖』を市民に手渡しすること。</li> <li>2. 手帳を活用し、食品の安全な取り扱いについて啓蒙活動。</li> <li>3. 消費者も自己責任があることを知る。</li> <li>4. 組織の強化を図る。</li> </ol>
事業内容	<p>(どのような課題の解決につながっていくのかが、わかるように事業内容を記載して下さい。)</p> <p>1 事業内容</p> <p>(1)前年度完成させた『取扱い手帖』を有効活用し手渡しする方法。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会の実施 前年にも触れたが、雪印メグミルク(株)の社外取締役日和佐信子さんをお招きしたい(全国消費者団体連絡会事務局長に就任。消費者契約法、食品安全基本法の成立に関わる)。</li> <li>・他団体との協同事業の実施 子どもを対象とした食の安全・食育講座・・・父母の参加も期待。</li> <li>・調理教室を開催し、実習しながら啓蒙と手渡しをする(市民講師に依頼)</li> <li>・消費者展、市民活動見本市に参加する。</li> <li>・千葉大学『食の安全・安心』講座に参加の市民に手渡す。</li> <li>・事業開催時アンケートを実施し反響を確かめ、内容の改良もある。</li> </ul>

2 スケジュール

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4 月	総会・会場押さえ	年間計画作成、会場確保
5 月	チラシ作成・詳細決定	1000 部
6 月	講師との最終打ち合わせ	
7 月	講演会の実施	※講師の都合で時期変更もある
8 月	ふりかえり	
9 月		
10 月	消費者展参加	
11 月	他団体との協同事業	講座・料理教室など
27.3 月	見本市に参加	

既存の事業からステップアップする部分  
※ステップアップ助成のみ

(今までに実施してきた事業に比べて、どのような点をステップアップしたのかを記載してください。)

事業の目標

(事業に取り組む上で、どれだけのことを達成したいのか、その目標を記載して下さい。)

※事業の成果目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載して下さい。

1. 完成した冊子(取扱い手帳)の配布 200 部。
2. 講演会を持ちたい。30 名を見込む。
3. 市民活動見本市参加・消費生活展に参加する。
4. 他団体との協力関係で講座を持つ。(料理教室など)

今後の展望

(助成終了後の将来の展望を記載してください。)

1. 冊子を広めていった結果、認知度も上がり信用が高まることを目標にしたい。
2. 松戸市消費生活センター・健康福祉政策課・保健所も訪れてつながりの道を探る。
3. 民間事業者とのタイアップに努力する。
4. 増版を見込む。
5. 市民アンケートにより冊子内容の改良もありうる。

## 事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	食の安全安心を考える市民の会拠出金	¥ 20,300	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金合計額 (a①)	¥ 20,300	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	
	団体より拠出金(対象外経費分) (a③)		対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 20,300	
	市 市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 120,300	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 50,000	講師謝礼
	印刷製本費	¥ 30,000	チラシ、資料、アンケートなど印刷 30円×1000枚
	消耗品費	¥ 10,000	チラシ、資料用紙、アンケート、封筒など 2円×1000枚 他
	使用料	¥ 2,000	会場使用料 市民会館調理室・女性センター
	賃借料	¥ 10,000	プロジェクター、スクリーン 1式
	通信運搬費	¥ 12,300	講師との通信・チラシ送付 延82円×150人
	保険料	¥ 6,000	行事保険 延100円×60人
	対象経費の合計 (D)	¥ 120,300	
その他経費	その他経費の合計 (E) = (a③)	¥ 0	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 120,300	

## 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

**【市民活動助成事業・スタート助成】**

外国人の子ども支援を考える事業

認定 NPO 法人外国人の子どものための勉強会

## 事業計画書

事業名	外国人の子ども支援を考える事業
団体名	認定NPO法人 外国人の子どものための勉強会

<p>取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)</p>	<p>グローバル化の進んだ現在、松戸市民47万人の内、外国人登録者は11,500人です(平成23年)。また少子高齢化で子ども数が減るなか、市内小・中学校に在籍する外国人の子ども数は306人(平成24年)と増えてきています。また日本生まれ日本育ち、国籍も日本だが家に帰れば異文化生活という子どもも相当数います。</p> <p>こういう状況は一般市民にはあまり知られていません。</p> <p>一方、外国人家庭の多くは、必要な情報は同国人からのものが多く偏っており、そのために子どもは学校生活の中で、孤立しがちで不利な立場に置かれていることが多いです。</p>
<p>事業の目的</p>	<p>外国から来た子どもの現状を知ること、子どもたちのアイデンティティを理解すること等を通して、外国人の子どもにはどんな支援が必要かを考えたいと思います。</p> <p>そして外国人の子どもが分け隔てなく、地域で元気に成長していくよう支援していきます。</p>
<p>事業内容</p>	<p>(どのような課題の解決につながっていくのかが、わかるように事業内容を記載して下さい。)</p> <p>1 事業内容</p> <p>外国人の子どもの現状を理解し、どんな支援が必要かを考えることを目標に2回の講座を開催します。</p> <p>講師に外国の方を迎え、生の声を聴いて外国理解を深めます。</p> <p>講座の後はワークショップを入れ、聞くだけの講座にしません。</p> <p>① 「外国人子ども支援を考えるー1」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「進路ガイダンスを通して」房総日本語ネットワーク・白谷氏</li> <li>・「外国人から聴いて考えるー日本の学校で学んだこと」 小・中学校時に来日し日本の学校で学び現在成人になった者・5名</li> <li>・ワークショップ</li> <li>・アンケート</li> </ul> <p>② 「外国人の子ども支援を考えるー2」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「外国人から聴いて考える」まつど国際文化大使他</li> <li>・「オリジナル教材を通して」外国人の子どものための勉強会・海老名</li> <li>・ワークショップ</li> <li>・アンケート</li> </ul>

	<p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="483 208 1382 824"> <thead> <tr> <th></th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 月</td> <td>チラシ作成・印刷・周知</td> <td>日本語ボランティア、一般事務所、サポセンで作業 市に公共施設へのちらし配架依頼</td> </tr> <tr> <td>5 月</td> <td>講座準備、周知</td> <td>広報まつどに掲載、</td> </tr> <tr> <td>6 月</td> <td>第1回講座開催</td> <td>松戸市民会館</td> </tr> <tr> <td>9 月</td> <td>チラシ作成・印刷・周知</td> <td>日本語ボランティア、一般事務所、サポセンで作業 市に公共施設へのちらし配架依頼</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>講座準備、周知</td> <td>広報まつどに掲載、</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>第2回講座開催</td> <td>松戸市民会館</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>ふりかえり報告</td> <td>事務所</td> </tr> </tbody> </table>		具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4 月	チラシ作成・印刷・周知	日本語ボランティア、一般事務所、サポセンで作業 市に公共施設へのちらし配架依頼	5 月	講座準備、周知	広報まつどに掲載、	6 月	第1回講座開催	松戸市民会館	9 月	チラシ作成・印刷・周知	日本語ボランティア、一般事務所、サポセンで作業 市に公共施設へのちらし配架依頼	10月	講座準備、周知	広報まつどに掲載、	11月	第2回講座開催	松戸市民会館	12月	ふりかえり報告	事務所
	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																							
4 月	チラシ作成・印刷・周知	日本語ボランティア、一般事務所、サポセンで作業 市に公共施設へのちらし配架依頼																							
5 月	講座準備、周知	広報まつどに掲載、																							
6 月	第1回講座開催	松戸市民会館																							
9 月	チラシ作成・印刷・周知	日本語ボランティア、一般事務所、サポセンで作業 市に公共施設へのちらし配架依頼																							
10月	講座準備、周知	広報まつどに掲載、																							
11月	第2回講座開催	松戸市民会館																							
12月	ふりかえり報告	事務所																							
<p>既存の事業からステップアップする部分 ※ステップアップ助成のみ</p>	<p>(今までに実施してきた事業に比べて、どのような点をステップアップしたいのかを記載してください。)</p>																								
<p>事業の目標</p>	<p>(事業に取り組む上で、どれだけのことを達成したいのか、その目標を記載して下さい。)</p> <p>チラシ配布数 1,000 枚、講座参加者は 2 回の講座で 100 名に来ていただきます。</p> <p>講座参加者にアンケートを実施し、結果から外国人の子ども支援を考えることができたという解答を 80% 引き出すことを目標とします。</p>																								
<p>今後の展望</p>	<p>(助成終了後の将来の展望を記載してください。)</p> <p>講座に参加後、外国人の子ども支援活動をしている当会を理解し、新しく会員となった方と共に活動を活発化させます。元子どもをスタッフとして教室活動等に巻き込み、後輩指導で力を発揮させます。</p>																								

## 事業の予算概要

## 【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	外国人の子どものための勉強会搬出金	¥ 24,720	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 24,720	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	
	団体より拠出金 (対象外経費分) (a③)		
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 24,720	
	市 市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 124,720	

## 【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報奨金	¥ 90,000	外部講師謝礼 10,000円×9
	食糧費	¥ 10,000	講座参加者茶菓子 5,000円×2
	印刷費	¥ 3,000	広報ちらし 2000枚 100円×20 講座配布物 500枚 10円×100
	消耗品費	¥ 9,100	ちらし、講座配布物用紙 2円×2500 模造紙、プリンタインク、ポストイット 100円×4 850円×2 2,000円×1
	使用料	¥ 5,120	会場使用料 640円×8時間
	賃借料	¥ 5,000	音響器材使用料 5,000円
	通信費	¥ 820	切手代 82円×10名
	保険料	¥ 1,680	ボランティア行事保険 28円×60名
	対象経費の合計 (D)	¥ 124,720	
その他経費			
その他経費の合計 (E) = (a③)	¥ 0		
合計額 (F) = (D+E)		¥ 124,720	

## 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

【市民活動助成事業・スタート助成】

河原塚史編纂事業

河原塚史編纂委員会

# 事業計画書

事業名 河原塚史編纂事業  
団体名 河原塚史編纂委員会

## 取組むテーマ

松戸市河原塚には、1,100年ほど前に、すでに熊野神社があり、住民が平安時代に盛んだった熊野詣に旅していたと言い伝えられている。本勝寺は700年前につくられたという。

また、5基からなる河原塚古墳群がいまも残っている。市内の古墳群は、小金と河原塚だけであり、貴重なものだ。

ところが地域には、歴史をまとめた書物や古文書などはない。

一方、住民は高度成長期の都市化で、97パーセントが地方出身者で占めている。多くは昼間東京方面に通勤し、夜、寝に帰る「千葉都民」である。

そういうなかで、住民に、自分たちの住む地域の歴史を調べ、伝えていく。

## 事業の目的

「地域づくり」は、住民の地域への愛着があつてこそ可能だ。そのためには、多くの住民が、自分たちの地域の歴史を知り、地域の良さを知ることが大事だ。

代々住んでいる人たちも含めて、自分たちの住んでいる地域の歴史を伝え、地域への愛着を持ってもらうことで、地域づくりの基礎的な力をつくっていく。

## 事業内容

河原塚の歴史を、さまざまな文献や報告書、お年寄からの聞き取りなどで調べ、テーマごとにまとめて4つの町会の回覧板に、毎月1回のせて、成果を全住民に提供している。テーマは35回分ほどあり、平成26年1月から回覧を開始し、今年度で15回分が終わる。

27年度は、引き続き毎月1回、つぎのテーマにまとめて回覧する。

4月＝本勝寺の歴史。本殿建立、住職のこと、檀家、墓地

5月＝田中新田の開発と八柱霊園。霊園から出た財天様

6月＝農業の移り変わり

7月＝地図や写真で見る昔の河原塚 京成分譲地の昔の風景

8月＝南山地域の宅地開発

9月＝いまも活躍する井戸水

10月＝河原塚小学校と中学校の新設

11月＝2つの区画整理。咲美台はバブル崩壊でも成功した

12月＝武蔵野線建設、337号線建設

1月＝新京成電鉄のコース。霊園前の駅が常盤平に 通勤、通学のエピソード

2月＝河原塚消防団のこと

3月＝戦争で受けた被害。矢野家のこと。神社の木々も被害

このうち9月分ぐらいまでは、今年度中に調査し、原稿にまとめておく。したがって27年度の具体的作業は、残り6回分についての調査・執筆と、28年度中に回覧する分の調査・執筆となる。また、回覧完了の段階で冊子にまとめるので、27年度後半はそのための編集作業も並行しておこなう。

### 事業の目標

昨年3月に編纂委員会を設立して、合計約35回のテーマをあげて、順次調査し、まとめている。現在16回分の原稿ができて、うち10回分（10月現在）が回覧を終えた。引き続き、来年分の作業をしており、ことし中に10回分程度のストックができるようにする予定だ。

一般的に、地域史まとめる場合、歴史に詳しい個人が、退職後におこなうことがほとんどだが、私たちは、町会長経験者を中心に、地域の有力者で編纂委員会を設立して、集団ですすめているのが特徴だ。

事業開始から約1年半、きわめて順調にすすんでいる。現状では、事業に支障が出るようなことはない。

### 今後の展望

回覧開始後、「知らないことがいっぱい出ていて、面白い」「つぎに来るのが楽しみ」などの反響があり、たくさんの方々が「大事なものだから、毎回コピーして保存している」といっている。

好評だが、回覧板で流すだけだと残らないので、最終的には冊子にして末永く後世に残す。冊子は希望者に無償提供する。町会の回覧板で希望者を募るが、いまのところ保存用も含めて1,000～1,500冊を考えている。行政機関や教育機関にも贈呈する。

回覧の印刷は、矢切の市民活動サポートセンターでおこなっている。冊子の印刷も同所でおこない、製本だけを業者に出すことにより費用を抑える。

住民が、自分たちの地域のことを知ることにより、地域がまとまり、助け合い、町会の活動にも関心をもって参加する、そういう地域をつくっていきたい。

## 事業の予算概要

## 【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	団体からの寄付	¥8,600	河原塚の4つの町会から予定
	自己資金合計額 (a①)	¥8,600	
	事業費収入額 (a②)	¥0	
	団体より拠出金 (対象外経費分) (a③)	¥38,500	対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥47,100	
	市 市民活動助成金 (B)	¥77,400	
合計額 (C) = (A+B)		¥124,500	

## 【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	印刷費	¥6,000	閲覧板を12回印刷×200円。ほか、コピー代
	消耗品費	¥77,000	用紙代、インク代、封筒代、ファイル代、印画紙代
	通信費	¥3,000	郵送代
対象経費の合計 (D)		¥86,000	
その他経費	委員食事代	¥25,000	編纂委員会開催時の食事代一部補助
	その他	¥13,500	資料代、交通費、研修費
	その他経費の合計 (E) = (a③)	¥38,500	
合計額 (F) = (D+E)		¥124,500	

## 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

【市民活動助成事業・スタート助成】

介護する人の笑顔 介護される人も笑顔に

～気づき～ご用聞きプロジェクト事業

介護・認知症の家族と歩む会・松戸

## 事業計画書

事業名	介護する人の笑顔 介護される人も笑顔 に～気づき～ご用聞きプロジェクト事業
団体名	介護・認知症の家族と歩む会・松戸

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	近年様々な形で展開されている「サロン」「介護予防講座」などにも参加出来ない(肉体的・病氣・精神的理由等)・外出困難高齢者への情報・課題収集と声掛け・情報提供・ゴミ出し等の支援＝孤立化の解消 閉じ籠りがちな方への参加の声掛け 訪問～課題・情報・要望を聴く～ご用聞き～人材の発掘・育成 別紙添付書類(ご用聞きプロジェクト)参照をお願いします。
事業の目的	超高齢社会の今日、歳を重ねても心身共に健康で社会参加出来ることが望ましい事です。しかし、一方で介護の問題が浮上してきています。 介護する人も、介護されるも人も、“住み慣れた地域社会・街”で安心して暮らし続けられる環境をつくる、これが最終目的です。  別紙添付書類(地域への想い)参照をお願いします。
事業内容	1 事業内容 詳細は別紙添付書類参照願います。 介護・認知症・福祉意識の啓発・向上、当事者の自助・自立、社会参加の促進等、地域福祉の推進つながる、講座・交流会・体験会などを行う。 ○要介護者・家族の課題・情報収集と発信 ○介護家族及び一般市民対象に介護や認知症の理解を深める講座。 ○介護家族の交流会、介護相談、学習会の開催 ○認知症本人向け交流会 ○支援に必要な人材発掘・育成講座 (ソーシャルビジネス・ボランティアグループ立上含む) ○地域市民の交流会 ○自治会・商店会・市民活動団体等の連携 ○地域市民交流・学生交流会  2 スケジュール 別紙添付書類(事業目標)参照願います
事業の目標	具体的な講座等は、会場の確保を前提に目標数を目指します。 しかし会場等の条件もありますので目標数の80%以上を最低限とします。 今回の活動は、全てが深く関わっています。どれが欠けても当初の目標・「ご用聞き」が出来ません。 会場が確保できれば、人材発掘・育成講座やソーシャルビジネス講座は3回連続講座も行いたいと考えています。 ○介護・認知症講座 12回 ●人材発掘・育成講座 5回 ★ソーシャルビジネス講座 3回 ☆交流会・相談会 5回 パートナー会議等 6回

今後の展望	<p>今回の一連の活動は、要介護者及びその家族等の抱える様々な課題の、収集と共有及び情報提供と同時に、介護・認知症の理解を推し進めることが第一議的にあります。さらにどの様にして支えるのか等の必要性を認識してもらう段階です。</p> <p>本当に必要なのは、それらの人々が口にした言葉は真実の声なのか、どうしたら心の内が聴けるのか、どうしたら信頼してもらえるのか、伝えたいことが 伝わっているのか等、「声掛け」・コミュニケーション・言葉のもつ魅力・力・魔力を学ぶことが必要になってきます。</p> <p>それを学ぶことで、より専門的な知識と相まって、笑顔と信頼の街づくりの基本の絆が出来てます。</p> <p>これらは次年度の第一課題です。しかし他の仲間達の力を借り、同時進行も模索中です。</p> <p>26年度中にも、今回提案の講座等は一部スタートを計画しています。</p>
-------	--

## 【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	団体より拠出金	¥ 20,000	対象外経費を団体会計より拠出
	支援会員会費	¥ 10,000	1000円×10人
	自己資金合計額 (a①)	¥ 30,000	
	事業収入	¥ 15,000	講座参加費500円×10人×3回 ソーシャルビジネス講座
	事業費収入額 (a②)	¥ 16,600	
	団体より拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 9,000	対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 55,600	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A + B)		¥ 155,600	

## 【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 24,000	講師謝礼・外部 3000円× 8人
	通信費	¥ 50,600	ハガキ500枚@52円・切手300枚@82円
	消耗費	¥ 17,000	チラシ用紙 20000×280円/500枚 カラー5000枚×580円/500枚
	印刷製本費	¥ 30,000	ポスター300×80円 チラシ25000枚×100円/1000枚パンフ等
	使用料	¥ 20,000	会場 3時間=1000円 20回
	賃借料	¥ 5,000	プロジェクター等
	対象経費の合計 (D)	¥ 146,600	
その他経費	交通費	¥ 5,000	駐車料金 スタッフ移動交通費等
	雑費	¥ 4,000	スタッフ飲料水等
	その他経費の合計 (E) = (a③)	¥ 9,000	
合計額 (F) = (D + E)		¥ 155,600	

## 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

**【市民活動助成事業・スタート助成】**

「カレーを食べる会」事業

五番街ふれあいセンター

## 事業計画書

事業名	「カレーを食べる会」事業
団体名	五番街ふれあいセンター

<p>取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)</p>	<p>(取り組もうとする課題について、その現状や背景なども含めて明確に記載して下さい。)</p> <p>高齢化の急激な進行に伴い高齢者が急増している。五番街にも75歳以上の単身者が64名、また75歳以上の夫婦も100名が暮らしている。この75歳以上の方々を対象に月に一回共に昼食を楽しむ会を開催する。</p> <p>簡単な昼食として「カレー」を中心に月の第4金曜日に開催する。</p> <p>併せて、毎回出欠確認の為電話を掛けてお声を聞く事で見守り活動として、食事に出て来られる事で孤立防止活動としても位置付けている。</p> <p>会場では懐メロ中心にBGMを流し、五番街のクラブ・サークルの皆様に歌、踊り等で参加頂く。</p>
<p>事業の目的</p>	<p>75歳以上の方々に月に一回の昼食会を開催する事で、コミュニケーションの場を提供する事と共に、毎月一回出欠確認の電話を掛けて、お元気なお声を聞く事で見守りと、また食事会に出席頂く事で孤立防止を行う。</p>
<p>事業内容</p>	<p>(どのような課題の解決につながっていくのかが、わかるように事業内容を記載して下さい。)</p> <p>1. 事業内容</p> <p>①毎月一回「カレーを食べる会」開催の案内チラシを配付する。  ②毎月一回出欠確認の電話をする。  ③食材(ご飯、カレー、副食材等)を購入する。  ④食事会でのBGM、催事を計画して実施する。  ⑤会場作り、後片付け作業を行なう。</p> <p>2. スケジュール</p> <p>毎月第4週の金曜日を中心に1回開催する。(年間12回)</p>

毎月第四金曜日に開催する。  
 時間：10時～13時30分  
 場所：五番街D棟集会所

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月	カレーを食べる会	75歳以上、D棟集会所
5月	カレーを食べる会	75歳以上、D棟集会所
6月	カレーを食べる会	75歳以上、D棟集会所
7月	カレーを食べる会	75歳以上、D棟集会所
8月	カレーを食べる会	75歳以上、D棟集会所
9月	カレーを食べる会	75歳以上、D棟集会所
10月	カレーを食べる会	75歳以上、D棟集会所
11月	カレーを食べる会	75歳以上、D棟集会所
12月	カレーを食べる会	75歳以上、D棟集会所
1月	カレーを食べる会	75歳以上、D棟集会所
2月	カレーを食べる会	75歳以上、D棟集会所
3月	カレーを食べる会	75歳以上、D棟集会所

既存の事業からステップアップする部分  
 ※ステップアップ助成のみ

(今までに実施してきた事業に比べて、どのような点をステップアップしたいのかを記載してください。)

事業の目標

(事業に取り組む上で、どれだけのことを達成したいのか、その目標を記載して下さい。)

※事業の成果目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載して下さい。

- ・一回の参加者を40名として、一年間の参加者 480名。

今後の展望

(助成終了後の将来の展望を記載してください。)

- ・参加者の拡大と見守りの強化。
- ・参加者から生活支援の情報(希望)の収集。

## 事業の予算概要

## 【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	五番街ふれあいセンターから拠出金	¥ 30,000	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 30,000	
	「カレーを食べる会」の会費	¥ 144,000	一人300円/回×40名/回×12回 (4月から3月まで)
	事業費収入額 (a②)	¥ 144,000	
	団体より拠出金 (対象外経費分) (a③)	¥ 48,000	対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 222,000	
	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 322,000	

## 【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	食糧費	¥ 192,000	一人400円/回×40名×12回
	通信費	¥ 36,000	電話代金 (出欠確認を電話で行なう。3000円×12カ月)
	印刷	¥ 24,000	チラシ10円×200枚×12回
	消耗品	¥ 22,000	PCインク代4400円×5回
	対象経費の合計 (D)	¥ 274,000	
	その他経費	¥ 48,000	スタッフの食事代 (400円×10名×12回)
	その他経費の合計 (E) = (a③)	¥ 48,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 322,000	

## 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

**【市民活動助成事業・スタート助成】**

認知症の啓発活動と患者・家族の支援体制づくり事業

松飛台自治会連合会

## 事業計画書

事業名	認知症の啓発活動と患者・家族の支援体制づくり
団体名	松飛台自治会連合会

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>テーマ(課題) 認知症の啓発活動と患者・家族の支援体制づくり</p> <p>松飛台地区では、祭り・運動会・敬老の集いなど一過性のイベントを中心に町会活動が行なわれてきたため、高齢者福祉対策が何も出来ていません。超高齢化社会を迎え、認知症を含め高齢者福祉に対する住民の関心や知識が乏しいことに危機感を持っています。国や松戸市の素晴らしい制度や対策をしっかりと取り込み、機能させることが連合会・町会の役割であると思います。認知症患者・家族や高齢者が住み慣れた街で気持ちよく、安心して生活できる街づくりをしたい。</p>						
事業の目的	<p>認知症の啓発活動をしながら住民と関係機関の協力を得て、患者と家族を支援する組織・体制・ネットワークをつくり、それを機能させていく。</p>						
事業内容	<p>1 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施体制：松飛台自治会連合会では13町会の会長と15名の福祉部員からなる福祉部会が中心になり、松戸市高齢者支援課、五香松飛台高齢者支援連絡会、五香松飛台包括支援センター、社会福祉協議会、医師会、薬剤師会、民生委員、健康推進委員のご支援とご協力のもとに7回の講習会を行いながら、認知症に関する課題解決に継続的に努力する。</li> <li>・対象：松飛台自治会連合会1,346世帯の65歳以上754名(75歳以上346名)とその家族。</li> <li>・場所：松飛台市民センター</li> <li>・その他：講習会の回数7回、1回80人程度、1回2時間(10時～12時)、講演、協力団体からの説明、予防体操、相談会、会議など組み合わせ、気軽に楽しく役に立つものにする。同時に支援組織・体制・ネットワークづくりを進めていく。</li> </ul> <p>2 スケジュール(平成27年4月～平成28年3月)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>テーマ他</th> <th>実施体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>認知症を知ろう ～早期発見とその対応～</td> <td>五香松飛台高齢者支援連絡会 五香松飛台包括支援センター</td> </tr> </tbody> </table>		テーマ他	実施体制	4月	認知症を知ろう ～早期発見とその対応～	五香松飛台高齢者支援連絡会 五香松飛台包括支援センター
	テーマ他	実施体制					
4月	認知症を知ろう ～早期発見とその対応～	五香松飛台高齢者支援連絡会 五香松飛台包括支援センター					

	介護家族向け冊子配布 (須貝祐一先生著)	社会福祉士他による説明
5月	松戸市の取り組み 認知症サポーター養成講座	松戸市高齢者支援課
6月	認知症の診断と治療 ～タイプ・症状・最新治療～ アルツハイマー型、脳血管性、 レビー小体型、前頭側頭葉型、 正常圧水痘症、混合型など	千葉大学付属病院 認知症医 療センター医師
9月	認知症の看護と介護 実際の看護と正しい介護の方法	看護師、介護師
10月	介護保険などの諸制度・福祉サ ービスの利用と相談について (経済的な面も実例で説明)	社会福祉士、包括支援センタ ー他
11月	地域での医療・介護の取組み ～在宅医療を中心として～	認知症クリニック医師 看護師、介護師、社会福祉士
2月	総括討論会と会議 ～患者と家族を支援する体制づ くり～ 支援組織とネットワークづくり 定期会議のメンバーと内容 第1回ケア会議の準備	高齢者支援連絡会、包括支援 センター、医師会、薬剤師会、 看護師、介護師、社会福祉士、 連合会会長・福祉部長他
既存の事業からステ ップアップする部分 ※ステップアップ助成 のみ	(今までに実施してきた事業に比べて、どのような点をステップアップした いのかを記載してください。)	
事業の目標	(事業に取り組む上で、どれだけのことを達成したいのか、その目標を記載 して下さい。) ※事業の成果目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載して下 さい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症に対する住民の関心と知識を高める。</li> <li>・ 認知症患者と家族の支援組織・体制・ネットワークをつくる。</li> <li>・ 次年度の4月に関係者が集まり第1回認知症ケア会議が開催できるよう にする。</li> <li>・ 高齢者支援連絡員：現在2名を13～15名に増やす。</li> <li>・ 認知症サポーター：現在数名を50名以上にする。</li> <li>・ 認知症に対する住民の理解を深め、「認知症は恥ずかしくない」「支援 するのは当たり前」という風土をつくる。</li> </ul>	

	<p>・自分や家族が認知症になってもあわてず適切に対応できるようにする。</p>
今後の展望	<p>(助成終了後の将来の展望を記載してください。)</p> <p>各団体・専門家のご支援のもと、関係者が集まり効果的なケア会議が联合会・町内会で継続的に行なわれるように、年1~2回の講習会をしながら見守り、フォローして行きたい。高齢者の認知症問題から入り、乳幼児・子供・高齢者・障害者などの生活弱者と家族が、安心して住める街づくりをしていきたい。</p>

## 事業の予算概要

(単位：円)

## 【収入】

科 目		金 額	積算内訳
団 体	松飛台自治会連合会拠出金	¥ 112,200	
	寄付金	¥ 0	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 112,200	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	
	団体より拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 7,000	
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 119,200	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 219,200	

## 【支出】

科 目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 60,000	外部講師謝礼
	広告チラシ	¥ 42,000	印刷代 5円×1,400枚×6回
	レジメ作成費	¥ 24,000	30円×80部×10講師
	会場使用料	¥ 19,600	700円×4時間×7回
	会場音響関係賃貸料	¥ 21,000	1回3,000円×7回
	プロジェクター賃貸料	¥ 40,600	1泊2日5,800円×7回
	通信費	¥ 5,000	切手他 (82円×60回)
	対象経費の合計 (D)	¥ 212,200	
その他経費	準備委員 お茶代	¥ 7,000	お茶100円×10人×7回
	その他経費の合計 (E) = (a③)	¥ 7,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 219,200	

## 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

**【市民活動助成事業・スタート助成】**

生涯スポーツの普及及び振興と健康な体づくり事業

ランニングをもっと楽しむネットワーク

## 事業計画書

事業名	生涯スポーツの普及及び振興と健康な体づくり事業
団体名	ランニングをもっと楽しむネットワーク

<p>取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)</p>	<p>(取り組もうとする課題について、その現状や背景なども含めて明確に記載して下さい。)</p> <p>松戸市の65歳以上割合は、平成22年の国勢調査の結果では、21.4%に達し、5人に1人は65歳以上の高齢者になっています。現在は更に割合が増え25%に近づいていると推測されます。(ちなみに平成12年は12.2%、平成17年は16.3%) 2013年の全国の平均寿命は、男性80.2歳、女性86.6歳です。</p> <p>65歳から平均寿命まで15年以上もあります。この間、寝たきりや要介護とならずに、元気に過ごすためには、日常の生活習慣が大きく関与していると言われていています。運動と食事が重要であることは言うまでもありません。</p> <p>ランニングの方法論が市民レベルまで説かれたおかげで、「高齢者にも楽しめるスポーツ」と言われるようになりました。松戸のランニングサークルに属する人も高齢者が増加中で、生涯、健康で楽しくランニングをすることを目指しているようです。当会のメンバーにとっても、「始めた時と比べて風邪を引きづらくなった」、「普段の生活が楽になり活動的になった」、「生活習慣病が改善された」、「フルマラソンやウルトラマラソンまで挑戦する気持ちにもなれた」など、身体的な効果はもとより、精神的な効果が明らかです。</p> <p>また、ランニングを共通項にコミュニティが広がり、交流の楽しみも増すという人間関係の広がりにもつながります。</p> <p>本事業は、高齢者にとってのランニングを一つの切り口として、一人でも多くの高齢者の健康寿命を延ばすことで、松戸市の高齢化という重要課題の解決に取り組む活動です。 更に、健全で活発な市民によるコミュニティ形成につながる取り組みになればと考えています。</p>
<p>事業の目的</p>	<p>これからランニングを始めたいけれど機会がないと考えている人(高齢者)や、ランニングを始めたいけれど仲間がいないという人(高齢者)を対象に、講演会やランニング教室を開催し、ランニングの楽しさ、効果を実感してもらい、ランニングファンを増やし、人と地域の健康増進を図ることを目的とする。</p>

事業内容	<p>(どのような課題の解決につながっていくのかが、わかるように事業内容を記載して下さい。)</p> <p>1 事業内容</p> <p>① ランニングと健康教室を開催し、市民のニーズを探る。</p> <p>② ランニングの専門家を招いて、ランニング、ウォーキングと健康に関する講演をおこなう。参加者とのディスカッションを通して、ランニングと健康に関する正しい知識を共有し、より多くの市民に「健康ランニング」の考え方を普及させる。</p> <p>③ 講演終了後、参加者にアンケートを実施する。理解度と今後の期待をまとめ、ランニング教室の運営の参考にする。</p> <p>④ ランニングと健康を紹介するパンフレットの作成(事例なども入れて)。講演参加者等に配布する。</p> <p>⑤ ランニング教室参加者の生活習慣病予防と体力効果管理</p> <p>⑥ アンケート内容を分析し、参加者の要望の多かったことの中からランニング教室で具体的に実施する。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="481 936 1388 1989"> <thead> <tr> <th></th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>ランニングと健康教室開催の準備、講演者の候補上げ、講演内容の確認、その内容に則したパンフレットの作成。</td> <td>本会員とランニングサークルメンバー、その他関連する専門家で打ち合わせ。場所は、サポートセンターなどの市の施設。</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>講演者の決定と打ち合わせ、講演内容打ち合わせ。ランニングと健康教室説明会開催と資料作成</td> <td>広報まつどに掲載。ポスター準備、本会のホームページ、ブログでの情報発信。講演、ランニング教室の場所確保。</td> </tr> <tr> <td>6月～7月</td> <td>講演者と最終打ち合わせ、講演の準備、周知。ランニングと健康教室(第一回、第二回)と資料作成</td> <td>本会員でポスターなど広告物の配付、掲載。駅周辺や市関連施設(市、サポートセンター)講演会場など。</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>講演会開催、アンケート実施。ランニングと健康教室(第三回)と資料作成</td> <td>本会員とランニングサークルメンバーで取り仕切る。アンケートの集計、結果をまとめる。</td> </tr> <tr> <td>9月～3月</td> <td>アンケート結果を反映させたランニングと健康教室開始(定例)</td> <td>本会員やランニングサークルの方々で主催する。場所は、松戸サポートセンターとその近辺の江戸川、運動公園、21世紀の森と広場など。</td> </tr> </tbody> </table>		具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月	ランニングと健康教室開催の準備、講演者の候補上げ、講演内容の確認、その内容に則したパンフレットの作成。	本会員とランニングサークルメンバー、その他関連する専門家で打ち合わせ。場所は、サポートセンターなどの市の施設。	5月	講演者の決定と打ち合わせ、講演内容打ち合わせ。ランニングと健康教室説明会開催と資料作成	広報まつどに掲載。ポスター準備、本会のホームページ、ブログでの情報発信。講演、ランニング教室の場所確保。	6月～7月	講演者と最終打ち合わせ、講演の準備、周知。ランニングと健康教室(第一回、第二回)と資料作成	本会員でポスターなど広告物の配付、掲載。駅周辺や市関連施設(市、サポートセンター)講演会場など。	8月	講演会開催、アンケート実施。ランニングと健康教室(第三回)と資料作成	本会員とランニングサークルメンバーで取り仕切る。アンケートの集計、結果をまとめる。	9月～3月	アンケート結果を反映させたランニングと健康教室開始(定例)	本会員やランニングサークルの方々で主催する。場所は、松戸サポートセンターとその近辺の江戸川、運動公園、21世紀の森と広場など。
	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																	
4月	ランニングと健康教室開催の準備、講演者の候補上げ、講演内容の確認、その内容に則したパンフレットの作成。	本会員とランニングサークルメンバー、その他関連する専門家で打ち合わせ。場所は、サポートセンターなどの市の施設。																	
5月	講演者の決定と打ち合わせ、講演内容打ち合わせ。ランニングと健康教室説明会開催と資料作成	広報まつどに掲載。ポスター準備、本会のホームページ、ブログでの情報発信。講演、ランニング教室の場所確保。																	
6月～7月	講演者と最終打ち合わせ、講演の準備、周知。ランニングと健康教室(第一回、第二回)と資料作成	本会員でポスターなど広告物の配付、掲載。駅周辺や市関連施設(市、サポートセンター)講演会場など。																	
8月	講演会開催、アンケート実施。ランニングと健康教室(第三回)と資料作成	本会員とランニングサークルメンバーで取り仕切る。アンケートの集計、結果をまとめる。																	
9月～3月	アンケート結果を反映させたランニングと健康教室開始(定例)	本会員やランニングサークルの方々で主催する。場所は、松戸サポートセンターとその近辺の江戸川、運動公園、21世紀の森と広場など。																	
既存の事業からステップアップする部分	(今までに実施してきた事業に比べて、どのような点をステップアップしたのかを記載してください。)																		

<p>※ステップアップ助成のみ</p>	
<p>事業の目標</p>	<p>(事業に取り組む上で、どれだけのことを達成したいのか、その目標を記載して下さい。)</p> <p>※事業の成果目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演参加者数 : 100人</li> <li>・アンケート結果で: ウォーキングやランニングを始めてみたいと思う人20名。</li> <li>・ランニング教室で: ランニング教室参加者50名以上(1年間で)。</li> </ul>
<p>今後の展望</p>	<p>(助成終了後の将来の展望を記載してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本会の趣旨に賛同し、松戸市民がウォーキングやランニングを通して健康増進を図り、コミュニティ形成や健康で健全なまちづくりに寄与する。</li> </ul> <p>地域活性化のため、松戸発信のランニングイベントなどの開催も視野に。</p>

## 事業の予算概要

【収入】

(単位:円)

	科目	予算額	積算内訳
団体	ランニングをもっと楽しむネットワーク団体拠出金	¥30,000	
	寄付金		
	自己資金(a①)	¥30,000	
	入場料収入	¥100,000	講演会、健康教室入場料 1,000円 x 100人
	事業収入額(a②)	¥100,000	
	ランニングをもっと楽しむネットワーク団体拠出金(対象外経費分(a③))	¥16,200	
	自己資金、事業収入合計額(A)=(a①+a②+a③)	¥146,200	
	市	市民活動助成金(B)	¥100,000
合計額 (C)=(A+B)		¥246,200	

【支出】

(単位:円)

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥100,000	外部講師謝礼 50,000円 x 2人
	印刷製本費	¥30,000	広報チラシの印刷代 15円 x 2,000部
		¥57,000	パンフレットの印刷代 57円 x 1,000部
	消耗品費	¥14,500	チラシ、ポスター用紙 2円 x 3,000枚、ボールペン 50円 x 110本、伝票ホルダー 300円 x 10個
	使用料	¥5,000	講演会会場使用料 1000円 x 5時間
	賃借料	¥7,100	音響機材使用料 7,100円
	通信費	¥16,400	郵送代 82円 x 200人
	対象経費の合計(D)	¥230,000	
その他経費	食糧費	¥7,500	会員の昼食代 500円 x 15人
		¥8,700	会員の交通費 580円(往復) x 15人
	その他経費の合計(E)=(a③)	¥16,200	
合計額 (F)=(D+E)		¥246,200	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(a①)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業当たり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

**【市民活動助成事業・スタート助成】**

子育て中のお母さんを元気にする癒し事業

一般社団法人あなたらしく・今を生きよう

## 事業計画書

事業名	子育て中のお母さんを元気にする癒し事業
団体名	一般社団法人あなたらしく・今を生きよう

<p>取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)</p>	<p>日常生活の中で、家事、仕事の他に子育てと女性の役割は更に増えて、心と体のケアをしている時間が取れず、実母による虐待等が最もおおくなっています。</p> <p>(出典:「松戸市の子ども・子育て支援の取り組み状況等について」平成25年11月子ども子育て政策室より)</p> <p>日々の生活の中で、不安を取り除き、自分の心を安定させて穏やかに生活する環境整備の必要性を強く感じている。松戸市の政策等の中では、子育て中の母親に対する心と体のケアに対する支援が少なく、家庭教育学級でもセルフケアに対する需要が高いという実績を踏まえ、当団体で多くの人に広めたい。</p>
<p>事業の目的</p>	<p>ストレッチ体操やハンドセルフケアを通して、心が満たされ、家族の中でケアし、心と体の変化に気づきが得られ、互いに寄り添い自分らしく生きれる社会になることの重要性を認識する人を増やすことを目的とする。</p>
<p>事業内容</p>	<p>1 事業内容</p> <p>【体験を通して心と体のケアの重要性を実感して頂く】</p> <p>準備</p> <p>① テキスト、チラシ、ポスターの作成</p> <p>② 市役所の担当課と効果的な広報活動について協議</p> <p>③ 公共施設等へのチラシ配布 参加者募集活動</p> <p>④ アンケート内容の検討</p> <p>体験会内容 講師 代表理事 林 美穂 (アロマインストラクター、フィットネストレーナー、ヨガ講師)</p> <p>① テキストによる講習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心と体の密接な関係についての話</li> <li>・自己管理の重要性を知って頂く話</li> <li>・団体の活動理念を伝える話</li> <li>・社会の現状と今後の見通しの話</li> </ul> <p>② アロマスプレーづくり</p> <p>③ 実演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・癒しと健康のためのハンドセルフケア、ストレッチ体操</li> <li>・ケア前後での体の変化を知る</li> </ul> <p>④ アンケートを実施して体験前後の心と体の変化を確認する</p> <p>⑤ 体験会によって、心が満たされ、小さな物事に気づくキッカケとなることを確認する</p> <p>⑥ 質疑応答</p> <p>⑦ 体験会は3回実施する</p> <p>開催後の確認</p> <p>① アンケート集計</p> <p>② 今後の活動方針の検討・実施</p>

2. スケジュール		
	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月	チラシ作製、配布	事業所にて作成
		市へ配布依頼し、公共施設に設置
	会場検討	公共施設へ応募
5月	チラシ配布	配布（公共施設、関連施設へ設置）
	体験会準備	ポスター等の掲示 アンケート内容検討
6月	体験会実施 上旬	参加者にテキスト配布
7～8月	アンケート集計・振り返り	理解度の確認 修正点の検討
	チラシ修正・配布	事業所にて作成
		市へ配布依頼し、公共施設に設置
	会場検討	公共施設へ応募
	体験会準備	ポスター等の掲示 アンケート内容検討
9月	体験会実施 中旬	参加者にテキスト配布
9～11月	アンケート集計・振り返り	理解度の確認 修正点の検討
	チラシ修正・配布	事業所にて作成
		市へ配布依頼し、公共施設に設置
	会場準備	公共施設へ応募
	体験会準備	ポスター等の掲示 アンケート内容検討
12月	体験会実施 上旬	参加者にテキスト配布
12～1月	アンケート集計・振り返り	理解度の確認 修正点の検討
既存の事業からステップアップする部分 ※ステップアップ助成のみ	記載事項なし	
事業の目標	体験会開催3回 パンフレット配布数 4000枚 体験会参加者数100人 アンケートで「セルフケア等の重要性への理解が深まった」を80% 体験会を通じて、想いが同じ仲間を10人増やす	
今後の展望	更に進歩発展させていくために、活動に参加する仲間を迎えるなど、啓発の担い手を増やし、より広く市民に対して知識を普及していきたい。	

## 事業の予算概要

(単位：円)

## 【収入】

科目		金額	積算内訳
団体	一般社団法人あなたらしく今を生きようからの拠出金	¥ 15,000	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 15,000	
	参加費	¥ 30,000	300円×100人
	事業費収入額 (a②)	¥ 30,000	
	団体より拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 16,500	対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 61,500	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 161,500	

## 【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	印刷製本代	¥ 30,000	テキスト代120円×100人 チラシ3.5円×4000枚 アンケート用紙2円×100枚 ポスター50円×20枚 その他雑費
	会場使用料	¥ 15,000	1080円×4時間×3 その他備品使用料 託児室2時間費用含む
	通信費	¥ 10,000	82円×120人程度
	消耗品	¥ 90,000	スプレー容器108円×100 ウエットティッシュ1,000 ビニール袋108×20 エタノール1300 精油74,650 他
	対象経費の合計 (D)	¥ 145,000	
その他経費	食糧費	¥ 7,500	会員の飲食代 500円×5人×3回
		¥ 9,000	会員の交通費 600(往復)円×5人×3回
	その他経費の合計 (E) = (a③)	¥ 16,500	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 161,500	

## 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

**【市民活動助成事業・スタート助成】**

青少年及び市民の普及啓発事業

NPO 法人 Lily Of The Valley

## 事業計画書

事業名	青少年及び市民の普及啓発事業
団体名	NPO 法人 Lily Of The Valley

取り組もうとする 松戸市のテーマ（課題）	現在小中学校において、いじめ、不登校等が大きな社会問題になっております。聞くところ学校クラスに必ず1, 2名の不登校児童がいると現在小中学生を育てている親御様の口から直接耳に致します。毎年減少することは無く確実に増加されることが予想されます。そうした問題を抱えていらっしゃる児童、ご家庭の市民の方々が松戸市民にも沢山いるのが現状ではないのでしょうか。																
事業の目的	問題を抱えているご家族のカウンセリング（相談）を受け、問題解決への提案やサポートを目的とします。又無料セミナー開催による普及啓発活動その中で海外では主流ですが日本では余り知られていないカウンセリングを市民の皆様にも知って頂き、一人でも多くの方々の不安や悩みを軽減する事。又青少年育成、社会復帰も最大の目的とします。																
事業内容	<p>（どのような課題の解決につながっていくのかが、わかるように事業内容を記載して下さい。）</p> <p>1 事業内容</p> <p>①パンフレット、チラシの作成、配布、掲示        カウンセリングルーム施設開設のパンフレット、ちらしを地域市民のご家庭へ配布。自治体等へのチラシの掲示。</p> <p>②専門家（心療内科医師、臨床心理士など）を招きセミナー及び講習会の開催        医師による、精神的な症状の現れ方や、ご家族の精神的な異変の現れ方などのセミナー。臨床心理士による、児童心理学による子供の気持ち等のセミナー開催。事前に開催に伴うパンフレットの配布やポスター作成し掲示も行う。</p> <p>③親子グループ交流会の開催        親子で参加し、それぞれ何組かのご家族で交流会を行う。自分の家族だけでなく別の家族の悩みを聞くことにより不安、悩み事の軽減につながる。又家族間のコミュニケーションの即発。事前に開催に伴うパンフレットの配布、ポスターの掲示も行う。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月～5月</td> <td>パンフレット作成、ポスター作成、専門家へ講習会の依頼</td> <td>セミナー講師の依頼、決定後パンフレット、ポスターの構成を作成する。スタッフ一同の取り組み。</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>パンフレット、ポスター印刷</td> <td>業者へ依頼</td> </tr> <tr> <td>6月～8月</td> <td>パンフレット配布、ポスター掲示</td> <td>地域市民へパンフレット配布、ポスター掲示</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>セミナーの打合せ、準備</td> <td>セミナー講師と打合せ。</td> </tr> </tbody> </table>			具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月～5月	パンフレット作成、ポスター作成、専門家へ講習会の依頼	セミナー講師の依頼、決定後パンフレット、ポスターの構成を作成する。スタッフ一同の取り組み。	6月	パンフレット、ポスター印刷	業者へ依頼	6月～8月	パンフレット配布、ポスター掲示	地域市民へパンフレット配布、ポスター掲示	9月	セミナーの打合せ、準備	セミナー講師と打合せ。
	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など															
4月～5月	パンフレット作成、ポスター作成、専門家へ講習会の依頼	セミナー講師の依頼、決定後パンフレット、ポスターの構成を作成する。スタッフ一同の取り組み。															
6月	パンフレット、ポスター印刷	業者へ依頼															
6月～8月	パンフレット配布、ポスター掲示	地域市民へパンフレット配布、ポスター掲示															
9月	セミナーの打合せ、準備	セミナー講師と打合せ。															

			セミナー講師の紹介チラシの作成。(当日配布分)
	10月	セミナー開催	当日スケジュールチラシ配布
	11月～1月	アフターフォロー	参加者へその後の家庭状況の確認。(メールや電話にて)
既存の事業からステップアップする部分 ※ステップアップ助成のみ	(今までに実施してきた事業に比べて、どのような点をステップアップしたいのかを記載してください。)		
事業の目標	<p>(事業に取り組む上で、どれだけのことを達成したいのか、その目標を記載して下さい。)</p> <p>※事業の成果目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載して下さい。出来るだけ多くの方々に参加して頂きたいので目標50名～80名を目標とします。その結果、家族のコミュニケーションが取れるようになった家庭、不登校日数が減った家庭、心の不安感が少し楽になった、等を参加者全員が感じてもらえることを目標とします。</p>		
今後の展望	<p>(助成終了後の将来の展望を記載してください。)</p> <p>将来の可能性を沢山持って生まれてきた子供達が元気に未来への希望をもって社会へ羽ばたいていけるサポートを出来る限り沢山の子供達へ伝えていきたいと考えております。</p>		

## 事業の予算概要

(単位：円)

## 【収入】

科目		金額	積算内訳
団体	NPO法人Lily Of The Valley団体拠出金	¥ 22,146	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 22,146	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	
	団体より拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 15,678	対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 37,824	
	市 市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A + B)		¥ 137,824	

## 【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料	¥ 14,130	会議室使用料 1日使用
	賃借料	¥ 1,080	会議室音響機材使用料金 @1080
	印刷製本費	¥ 16,960	広報パンフレット印刷代金 @8480×2 (500部から) 1000部印刷
		¥ 23,760	ポスター印刷代金 @1188×20枚
		¥ 5,000	当日パンフレット印刷代金 @50×100部
	消耗費	¥ 1,000	当日パンフレット用紙代金 @1×100部
	食糧費	¥ 216	講師セミナー中ペットボトル @108×2本
	報酬費	¥ 60,000	外部講師謝礼金 2名×@30000
	対象経費の合計 (D)	¥ 122,146	
	その他経費	食糧費	¥ 5,400
		¥ 8,640	来客用ペットボトルお茶 @108×80本
交通費		¥ 1,638	会員の交通費 @546×3名
その他経費の合計 (E) = (a③)		¥ 15,678	
合計額 (F) = (D + E)		¥ 137,824	

## 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

**【市民活動助成事業・スタート助成】**

地域防災向上事業

RKU ファイヤーファイターズ

## 事業計画書

事業名	地域防災向上事業
団体名	RKUファイヤーファイターズ

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	市民が安全に過ごせるために家庭で行える防災対策を専門家の意見も交えながら私たちの考えた参考例なども取り入れてもらいながら考えてもらう。																					
事業の目的	市民が日頃あまり気にしていないところに震災などが起きた場合どういったものが障害になりうるのかを知ってもらい、各家庭で出来る安全対策を行ってもらう。																					
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>啓発パンフレットの配布 地域の人や松戸市民がためになるパンフレットを作ることで少しでも市民安全と防災意識の向上を促す。 専門家を招いた講演会 防災に関する専門家(大学教授、研究員)をお呼びし、講演するとともに私たちの考える防災対策の発表を行う。 今までは学生の出来る範囲ということで資金があまりないため専門家などを呼んだこともないためイベントとしても小規模で行っていた。今回は助成金をいただけるのであればそういった専門家の力を借り、より良い防災対策のイベントができると確信している。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>パンフレット作成</td> <td>会議と下調べ、専門家の意見</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>パンフレット印刷</td> <td>業者に依頼</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>パンフレット配布</td> <td>自治会、市に提供し配布</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>講演会準備</td> <td>ポスター掲示、</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>講演会開催・アンケート</td> <td>参加者パンフレット配布</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>アンケート集計</td> <td>イベントの反省など</td> </tr> </tbody> </table>		具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月	パンフレット作成	会議と下調べ、専門家の意見	8月	パンフレット印刷	業者に依頼	9月	パンフレット配布	自治会、市に提供し配布	12月	講演会準備	ポスター掲示、	2月	講演会開催・アンケート	参加者パンフレット配布	3月	アンケート集計	イベントの反省など
	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																				
4月	パンフレット作成	会議と下調べ、専門家の意見																				
8月	パンフレット印刷	業者に依頼																				
9月	パンフレット配布	自治会、市に提供し配布																				
12月	講演会準備	ポスター掲示、																				
2月	講演会開催・アンケート	参加者パンフレット配布																				
3月	アンケート集計	イベントの反省など																				
既存の事業からステップアップする部分 ※ステップアップ助成のみ																						
事業の目標	講演参加人数 100 人 パンフレットの 1000 部配布																					
今後の展望	この活動を通して参加してくれた方がいつ何時起きるかもわからない災害に対してその時どうすれば良いのか市民目線に立ち分かりやすい解決方法を提示することにより、自身の安全はたまた地域の安全につながるものにしていただく。																					

## 事業の予算概要

## 【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 10,000	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 10,000	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	
	団体より拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 10,000	対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 20,000	
	市 市民活動助成金 (B)	¥ 90,000	
合計額 (C) = (A + B)		¥ 110,000	

## 【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 50,000	外部講師 謝礼
	印刷費	¥ 50,000	パンフレット50円×1000
	対象経費の合計 (D)	¥ 100,000	
その他経費	食糧飲料	¥ 10,000	会員の飲食代
	その他経費の合計 (E) = (a③)	¥ 10,000	
合計額 (F) = (D + E)		¥ 110,000	

## 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

**【市民活動助成事業・ステップアップ助成】**

市民後見人活動を通じたやさしい・

助け合いの街づくり事業

認定NPO法人 東葛市民後見人の会

事業計画書

事業名	市民後見人活動を通じたやさしい・助け合いの街づくり事業
団体名	認定NPO法人東葛市民後見人の会

<p>取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)</p>	<p>① 高齢化率が確実に上昇している。松戸市「いきいき安心プランⅣ」によれば平成30年には高齢者125千人、高齢化率25.1%と予想されている。</p> <p>※平成26年3月31日付松戸市高齢化率： 高齢者数112千人、高齢化率23.17%（前年比4,930人、高齢化率1%の増加）</p> <p>② 認知症高齢者数も急速に増加しており、政府予想より10年も早く、平成24年には、その数は300万人を超えていると報道されている（NHK25年9月、特報首都圏）。</p> <p>③ ベッドタウンとして発展してきた当市においては今後数年の内に団塊の世代が後期高齢者の年代に入り、地域の高齢化はさらに進むと考えられる。こうした状況下、支えを必要とする市民を元気な市民が支える、やさしい・助け合いの街づくりの仕組みを早急に作る必要があると考える。</p> <p>④ 弊会では「ボランティア精神と社会貢献」という理念のもと認知症高齢者及び知的障害・精神障害等で判断能力が不十分な方を支える、やさしい・助け合いの街づくりの役割を発揮していきたいと考えている。</p>															
<p>事業の目的</p>	<p>① 成年後見制度の普及・啓発 ② 市民後見人として活躍できる人材の育成 ③ 成年後見制度に関する具体的な相談事案への対応</p> <p>④ 上記事業の実施において地域関係機関との連携を重視しつつ、具体的な助け合い事業により、やさしい街づくりの役割を担っていく。</p>															
<p>事業内容</p>	<p>1 事業内容</p> <p>① 成年後見制度の普及啓発のための講習会（2回） 期待する参加者 各々30名程度 計 約60名</p> <p>② 成年後見制度に関する定期的相談会の開催（毎月開催、年間10回） 累計相談事案 20件程度</p> <p>③ 市民後見人養成講座（4日間） 募集定員 50名程度</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="478 1736 1380 2049"> <thead> <tr> <th></th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月</td> <td>相談会 5月から毎月開催</td> <td>相談員は会員3名程度が対応 松戸商工会議所会議室等にて</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>講習会</td> <td>外部講師、市民センター等にて</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>講習会</td> <td>外部講師、市民センター等にて</td> </tr> <tr> <td>1月～2月</td> <td>市民後見人養成講座</td> <td>松戸商工会議所にて</td> </tr> </tbody> </table>		具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	5月	相談会 5月から毎月開催	相談員は会員3名程度が対応 松戸商工会議所会議室等にて	7月	講習会	外部講師、市民センター等にて	10月	講習会	外部講師、市民センター等にて	1月～2月	市民後見人養成講座	松戸商工会議所にて
	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など														
5月	相談会 5月から毎月開催	相談員は会員3名程度が対応 松戸商工会議所会議室等にて														
7月	講習会	外部講師、市民センター等にて														
10月	講習会	外部講師、市民センター等にて														
1月～2月	市民後見人養成講座	松戸商工会議所にて														

<p>既存の事業からステップアップする部分 ※ステップアップ助成のみ</p>	<p>① 定期的無料相談会の開催</p> <p>i・従来随時行ってきた相談会の回数を増やし定期開催することにより一人でも多くの方の支援を実践していく。</p> <p>ii・講習会においては参加者の相談ニーズを極力把握し、相談会へと繋げていく。</p> <p>iii・相談会では当会の後見事務担当者（一定の研修等を修了した者）3名程で対応し、来談者の信頼を得ることで実践に繋げていくと共に、会員の相談能力アップを図る。</p> <p>② 事業実施及び事案解決のため、地域の関係機関（地域包括支援センター、社協、地区社協、高齢者支援連絡会、民生委員など）との相互連携をより密に図っていく。</p> <p>③ 市民後見人養成講座の開催において、可能な限り松戸市内の関係機関・団体の方に講師を依頼し、市の実情を基に成年後見制度の必要性を理解してもらうよう企画する。</p>
<p>事業の目標</p>	<p>① 講習会参加者 60名、相談件数 20件、市民後見人養成講座受講生50名を目標とするが、極力内容を重視したい。例えば、相談会であれば来談者への親身な対応、継続的な相談窓口となれるような助言に心がけ、多くの方に、一人でも安心して生活できるということを実感していただけるよう努めていく。</p> <p>② 事業終了後には成年後見制度の重要性・必要性を理解し普及啓発活動に参加する人を増やし、将来的に支える側の役割を担える人材を増やしていく。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>① 事業目的が単発で終了するものではないので本事業終了後成果と反省をしっかりと行い、さらに活動をステップアップさせ、やさしい・助け合いの街づくりに向けて努力していく。</p> <p>② 市民後見人養成講座受講修了生には当会のレベルアップ研修会、さらには実務的な勉強会への参加を促し、実践に耐えうる人材を養成する。</p> <p>③ 26年3月に認定法人資格を取得し、資金的には寄付を受ける端緒はできた。今後さらに事業活動の発展的継続を図ることで知名度を向上させ、潤沢な活動資金の確保を目指す。それにより、真のやさしい・助け合いの街づくりへの貢献が一日も早く達成されることを願ってやまない。</p>

## 事業の予算概要

## 【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 58,000	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 58,000	
	養成講座受講料	¥ 250,000	受講者 50名×5,000円
	事業費収入額 (a②)	¥ 250,000	
	団体より拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 10,000	対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 318,000	
	市 市民活動助成金 (B)	¥ 272,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 590,000	

## 【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	講師謝礼	¥ 260,000	養成講座：講師謝礼210千円，講習会：講師謝礼50千円
	会場費	¥ 130,000	養成講座については松戸商工会議所の会議室を利用予定
	教材費	¥ 80,000	養成講座：テキスト52,500円、 ラストプランニングノート22,500円他
	用紙・印刷代	¥ 80,000	養成講座：60,000円(用紙代40千円、 印刷代20千円)
	通信費	¥ 30,000	養成講座：20,000円
	対象経費の合計 (D)	¥ 580,000	
	その他経費	¥ 10,000	内部講師
その他経費の合計 (E) = (a③)	¥ 10,000		
合計額 (F) = (D+E)		¥ 590,000	

## 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

**【市民活動助成事業・ステップアップ助成】**

日帰り滞在型

「“葵の里” まつど散策マップの作成」事業

まつど学びの旅推進協議会

## 事業計画書

事業名	日帰り滞在型「“葵の里”まつど散策マップの作成」事業
団体名	まつど学びの旅推進協議会

<p>取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)</p>	<p>(取り組もうとする課題について、その現状や背景なども含めて明確に記載して下さい。)</p> <p>私たちは、過去4年以上に亘って「観光による松戸の活性化」に関して具体的な『まつど学びの旅ウォーク』という観光スポットを核にして地域の特色ある名所・史跡などの散策コースづくりを定期的実践しています。その活動を通じて経験した経緯から昨年「“葵の里”まつど散策マップの作成」事業で、新しい市内ガイドマップ必要性の問題提起をしました。その内容は下記の通りです。</p> <p>①松戸市内に多くある名所・史跡が市内在住の方々も含めて知られていない。</p> <p>②市内観光スポットとなり得る場所が点在しているが、それを結ぶルートが整備されていない。</p> <p>③市役所や観光協会などの現存する市内ガイドマップは、点在する観光スポットを主体にしたマップ、チラシになっているため、手軽な散策に利用できない。</p> <p>そこで昨年度『日帰り滞在型「“葵の里”まつど散策マップの作成」事業』を提案して、採択頂き実施させて頂きました。</p> <p>然しながら、予算的に掲載内容と使い勝手を考慮して一部地域のみで作成にとどまりました。従って、松戸市内の全域をカバーしていません。そこで課題解決のためにも事業を継続して、残り地域のマップを作成して多くの方々が松戸を訪れ、地域の経済効果向上に寄与したいと思います。</p>
<p>事業の目的</p>	<p>(1)松戸市内の特色ある名所・史跡を分かり易く、持ち運び易く、便利な散策マップを作成する</p> <p>(2)点在する市内観光スポットを地域別、ルート別に散策し易いマップを作成する</p> <p>(3)旧来の知られた観光スポットを核にして、その地域の特色の名所・史跡など掘り起した新規スポットを加えた散策マップを作成する</p>
<p>事業内容</p>	<p>(どのような課題の解決につながっていくのかが、わかるように事業内容を記載して下さい。)</p> <p>1 事業内容</p> <p>昨年度の『日帰り滞在型「“葵の里”まつど散策マップの作成」事業』で実施した(松戸宿、矢切エリア版)に以下の地域を追加作成する。</p> <p>① 小金、本土寺エリア A (大谷口歴史公園、本土寺など)</p>

- ② 小金、本土寺エリア B (広徳寺、幸田貝塚、本土寺など)
- ③ 小金宿エリア (小金宿、東漸寺、福昌寺など)
- ④ 小金原エリア (根木内歴史公園、了源寺、茂呂神社など)
- ⑤ 馬橋、上本郷エリア (萬満寺、明治神社、本福寺、風早神社など)、
- ⑥ 常盤平エリア (祖光院、常盤平団地街、子和清水など)
- ⑦ 五香、六実エリア (鮮魚街道、お立場、野馬除土手、梨園など)
- ⑧ 東松戸、河原塚エリア (傳法寺、廣龍寺、河原塚古墳群など)

2 スケジュール

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月	前年活動の整理と纏め	定例の推進協議会
5月		定例の推進協議会
6月		定例の推進協議会 (内容検討会)
7月	ガイド原案の作成 (1)	定例の推進協議会
8月	ガイド原案の作成 (2)	定例の推進協議会
9月	ガイド原案の作成 (3)	定例の推進協議会
10月	ガイド詳細案の作成	定例の推進協議会、印刷会社
11月		定例の推進協議会
12月	ガイド印刷・校正	定例の推進協議会、印刷会社
1月	ガイドの配布	定例の推進協議会
2月	事業の総括と報告書作成	定例の推進協議会
3月	事業活動の報告書提出	報告会、定例の推進協議会

既存の事業からステップアップする部分  
※ステップアップ助成のみ

前年度の助成事業の認定を頂き、「“葵の里” まつど散策マップの作成」(松戸宿、矢切エリア版)が完成しました。  
今回のステップアップ事業で、残りの松戸市内地域を網羅することが可能となります。今後このマップを活用して、更に松戸市への来訪者の増加に役立つと確信しています。

事業の目標

前年度掲げた目標の実績を踏まえて今年度も継続的に新たな目標に向けて実施する。  
(目標) 松戸市内に多くある名所・史跡を知ってもらう活動(「学びのウォーク」)を定期的開催して、下記の成果を実現します。  
そしてマップ作成のための情報収集に努めます。  
(1) 松戸市への来訪者を増やします。  
平成24年度 学びウォーク実施(8回、参加者合計:384名)  
平成25年度 学びウォーク実施(10回、参加者合計:447名)  
平成26年度(目標) 平成24年度並み  
(2) 地域商店等の活性化に応援します。  
平成24年度 飲食店利用回数:8回、野菜収穫体験、講和等:3回  
平成25年度 飲食店利用回数:10回、野菜収穫体験、講和等:  
4回  
平成26年度(目標) 平成24年度並み

	<p>(3) 実践した「学びのウォーク」のルートは会のホームページでの掲載と実施毎に企画する広報用チラシを活用します。</p> <p>上記、定例の学びウォーク開催に合わせて告知と実施報告を全てホームページに掲載しています。</p> <p>それとは別に、市広報とミニコミ誌（4、5社）に学びウォーク開催案内の掲載をお願いして広報・宣伝に努めています。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>(助成終了後の将来の展望を記載してください。)</p> <p>私たちの「観光による松戸の活性化」の活動は、日帰り滞在型「“葵の里” まつど散策マップの作成」事業がスタート起点です。</p> <p>この作成されたマップを活用して、JR や新京成等の鉄道会社とタイアップして近隣の東葛地区の方々だけでなく、千葉県や東京方面からも多くの観光客が来られ、着地型観光のサンプルとなることを想定しています。</p>

## 事業の予算概要

## 【収入】

(単位：円)

科 目		金 額	積算内訳
団 体	学びの旅推進協議会拠出金	¥ 36,200	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	寄付金	¥ 0	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 36,200	
	「まつど学びの旅」講座参加料	¥ 6,000	300円*20人*1回
	事業費収入額 (a②)	¥ 6,000	
	団体より拠出金(対象外経費分)(a③)	¥ 10,000	対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額(A)=(a①+a②)+a③	52,200	
市	市民活動助成金(B)	¥ 300,000	
合計額(C)=(A+B)		¥ 352,200	

## 【支出】

科 目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 10,000	外部講師謝礼 10,000円×1回
	印刷製本費	¥ 300,000	ガイド・チラシの印刷代 2,000部*50円*3
	消耗品費	¥ 5,000	デフン作成ワーク ショップ用(模造紙等の事務用品) 100円*20式 50円*60枚
	使用料	¥ 4,000	会場使用料 1,000円*4時間*1回
	賃借料	¥ 0	
	通信費	¥ 8,200	講座案内用(切手代) 82円×100枚
	保険料	¥ 15,000	行事保険料 500円*30人
	対象経費の合計(D)	¥ 342,200	
その他経費	交通費	¥ 10,000	下見交通費 1000円*5人*2回
その他経費の合計(E)=(a③)	¥ 10,000		
合計額(F)=(D+E)		¥ 352,200	

## 【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(a①)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。



**【市民活動助成事業・ステップアップ助成】**

団塊シニア世代の地域デビュー事業

認定特定非営利活動法人

たすけあいの会ふれあいネットまつど

## 事業計画書

事業名	団塊シニア世代の地域デビュー事業
団体名	認定NPO法人たすけあいの会ふれあいネットまつど

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 団塊・シニア世代が地域社会活動に参画すると期待されてきたが、ようやく環境が整ってきた。とくに約800万人もの団塊世代の多くが加わり、地域コミュニティの創造に参加することになれば、市民主体の地域社会活性化は相当に進むことになります。</li> <li>2. 団塊・シニア世代の60%程度が地域社会の活動への参加を希望しているが、実際には少数しか参加していない。この要因は地域のNPO・市民団体・ボランティア団体の活動が魅力的に見えず、また具体的な働き掛けが少ないことも一因といえます。</li> <li>3. 本事業は、団塊・シニア世代と地域のNPO・市民団体・ボランティア団体を結び、かつ、それに飽き足らない団塊・シニア世代の起業を促すものです。</li> </ol>
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 団塊世代を中心にしたシニア世代に、地域社会のNPO・ボランティア活動・市民活動・市民事業への参加・起業を促し、市民・NPOが主体の地域コミュニティの創造に寄与します。</li> <li>2. この事業を通じて、地域ネットワークの核をつくり、今後のコミュニティ創造、ひいては、官民に伍する市民セクターの形成に寄与します。</li> </ol>

事業内容

(概要)

上記目的を実現するために、①講演会②連続セミナー(研修)③地域のNPO・市民団体・ボランティア団体においてOJT(実地体験)を行い、団塊世代とシニア世代の地域コミュニティ形成とNPO・市民活動への参加促進を図ります。

(事業内容)

1. 講演会の開催

(1)目的

地域の団塊・シニア世代に広く呼びかけ、団塊・シニアを取り巻く状況と地域コミュニティ形成のために果たす団塊・シニアの役割、社会貢献を通じての生きがいづくりなどについて、本事業の基調講演会を実施し、本事業への参加者の獲得を行います。

(2)対象

団塊世代・シニア世代の市民、松戸市内のNPO・市民団体・ボランティア団体等の構成メンバー。

(3)内容:基調講演会

- ①講演タイトル:「地域はあなたを待っている - 団塊・シニア世代に期待する」
- ②講師:堀田 力氏(公益財団法人さわやか福祉財団理事長)  
※講師と参加者との交流会も実施する
- ③開催日 4月25日(土) 午後2時～午後4時 ※予定
- ④会場 松戸商工会議所大会議室
- ⑤定員 100人/参加費無料

2. 地域デビューセミナー(研修会)

「地域はあなたを待っている! ... 『地域デビュー』のススメ。」の開催

(1)目的

地域社会が抱える課題を理解し、地域のNPO・市民団体・ボランティア団体が行っている活動に参加する、あるいは自分で起業(NPO・市民団体・ボランティア団体等)できるようにします。

(2)対象

NPO・市民団体・ボランティア団体の活動に関心のある市民、活動参加を模索している団塊・シニア世代を中心とする市民

(3)セミナー回数と講師

3日間・9講座(講師9人)

(4)定員 20人 /参加費無料

(5)内容(案)

	タイトル	講師
一日目(5月9日)	①オリエンテーション	奥田 義人 認定NPO法人たすけあいの会 ふれあいネットまつど
	②地域社会づくりの全国の動向	田中 尚輝氏 認定NPO法人市民福祉団体 全国協議会専務理事

二 日 目 (5 月 1 0 日 ㊤)	③ 団塊・シニアの出番だ！- 自治会・町内会の現場から	大塚 氏 松戸市小金連合町会会長
	④ 団塊・シニアの出番だ！- シルバー人材センターの現場から	氏 松戸市シルバー人材センター理事長
	⑤ 地域で暮らす・活動する - 松戸市のNPOの現状と展望	まつど・市民活動サポートセンター長
	⑥ 地域で暮らす・活動する - 松戸のボランティア活動の現状と展望	佐藤 英美 氏 松戸市社会福祉協議会ボランティアセンター長
	⑦ 「団塊・シニアの出番だ！- 人材パワーアップセンターの活動から」	岩橋 秀高 氏 NPO 人材パワーアップセンター理事長)
	⑧ 講義⑦「団塊・シニアの出番だ！- ふれあいネットの活動から」	佐久間 浩子 認定 NPO 法人たすけあいの会 ふれあいネットまつど

### 3. 団体体験講座(OJT)

#### (1) 目的

NPO・市民団体・ボランティア団体の活動を体験(OJT)することを通じて団塊世代の地域デビューにむけてより確信をもってもらう。

#### (2) 対象 セミナー参加者20人

	タイトル	内容
(5月16日㊤) 三 日 目	団体の活動紹介 松戸市内の住民団体 NPO・市民団体・ボランティア団体から、自分の団体の活動についてプレゼンテーションする	松戸市内の住民団体・NPO・市民団体・ボランティア団体①福祉②子育て③環境④街づくり⑤文化⑥復興支援活動から各2団体計12団体を予定
	セミナー参加者と活動体験団体とのマッチング	活動体験をしたい団体と個別相談を行い、実施団体・活動内容・日程を決める
(5月17日㊤)～6月末) 四 日 目	団体体験(OJT)	戸市内の住民団体・NPO・市民団体・ボランティア団体で実際の活動体験(OJT)をする(参加者1人につき1ヶ所)。受入れ団体には、①福祉②子育て③環境④街づくり⑤文化⑥復興支援活動から各2団体計12団体を予定

### 4. 相談事業

	<p>(1)目的          セミナー参加者の行動決定についての相談を受けアドバイスを行う。活動参加・起業の適切なアドバイスを行う。</p> <p>(1)日程 5月17日(日)～7月31日(金)</p> <p>(2)会場          認定 NPO 法人たすけあいの会ふれあいネットまつど          コミュニティカフェふれあいに居場所みんなち</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="478 504 1380 817"> <thead> <tr> <th></th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>講演会の開催</td> <td>ふれあいネットまつど事務局 場所:松戸商工会議所</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>セミナーの開催</td> <td>ふれあいネットまつど事務局</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>OJT研修</td> <td>ふれあいネットまつど事務局</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>追跡調査</td> <td>ふれあいネットまつど事務局</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>振り返り・報告書作成</td> <td>ふれあいネットまつど事務局</td> </tr> </tbody> </table>		具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月	講演会の開催	ふれあいネットまつど事務局 場所:松戸商工会議所	5月	セミナーの開催	ふれあいネットまつど事務局	6月	OJT研修	ふれあいネットまつど事務局	8月	追跡調査	ふれあいネットまつど事務局	9月	振り返り・報告書作成	ふれあいネットまつど事務局
	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																	
4月	講演会の開催	ふれあいネットまつど事務局 場所:松戸商工会議所																	
5月	セミナーの開催	ふれあいネットまつど事務局																	
6月	OJT研修	ふれあいネットまつど事務局																	
8月	追跡調査	ふれあいネットまつど事務局																	
9月	振り返り・報告書作成	ふれあいネットまつど事務局																	
<p>既存の事業からステップアップする部分          ※ステップアップ助成のみ</p>	<p>1. 自団体のボランティア拡大、養成にとどまらず、松戸市内の様々な地域活動に参加する市民を増やし、団塊・シニア世代がイキイキと活動する地域社会づくりに取り組みます。</p> <p>2. 座学による知識だけでなく、講演⇒セミナー⇒活動体験(OJT)を一体的に行うことで、効果をためるようにしています。</p>																		
<p>事業の目標</p>	<p>1. 講演会参加者 100人          2. セミナー参加者 20人          3. 地域活動への参加者 10人</p>																		
<p>今後の展望</p>	<p>1. 団塊・シニア世代への啓発、また地域で活動するNPO・市民団体・ボランティア団体への参加による既存の活動・事業の活性化、新規のNPO・市民団体・ボランティア団体の起業準備により、市民主体の地域コミュニティ創造につながるようにします</p> <p>2. この事業を通じて、松戸市内の地域ネットワークづくり、今後のコミュニティ創造、ひいては、官民にと協働する市民セクターの形成に寄与していきます。</p>																		

## 事業の予算概要

## 【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	本会拠出金	¥ 301,000	対象事業費の一部を本会の会計より拠出
	寄付金	¥ 100,000	本会会員よりの寄付
	自己資金合計額 (a①)	¥ 401,000	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	
	団体より拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 100,800	対象外経費を本会会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 501,800	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 801,800	

## 【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 200,000	講演会講師(堀田力氏)謝礼金 200,000円×1=200,000円
		¥ 90,000	セミナー講師謝礼金 15,000円×6人=90,000円
		¥ 60,000	団体プレゼン講師謝礼金 5,000円×12=60,000円
	印刷製本費	¥ 80,000	告知チラシ8円×10000枚=80,000
		¥ 100,000	講演会資料・テキスト印刷費 5円×20,000枚=100,000円
	使用料	¥ 40,000	講演会(商工会議所大会議室)
		¥ 90,000	セミナー(商工会議室中会議室)30000円×3日
	通信費	¥ 41,000	告知チラシ発送 82円×500=41000
	対象経費の合計(D)	¥ 701,000	
その他経費	アルバイト賃金	¥ 100,800	900円×8時間×2人×7日=100800円
	その他経費の合計(E)=(a③)	¥ 100,800	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 801,800	

## 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業30万円以内であること。